※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	家庭総合（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活に関する知識や技術を身につける一方で、それらのもつ意味や在り方を人の一生との関わりの中で考えていきます。
・生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していけるような実践的な力を養うことを目的としています。
・「自分らしいライフスタイル」を探求し、より主体的に人生を送っていけるよう学習に取り組んでください。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、経済生活、消費生活、衣生活、食生活に関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、生活を主体的に営むために必要な知識を理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生活の中から問題を見いだし課題を設定する力や、多様な意見や価値観を取り入れ自身の生活を見直していく力を身につけている。	生活を楽しみ味わい、豊かさを創造しようとするとともに、日本の生活文化を継承・創造しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	住生活をつくる	・健康に配慮した快適な室内環境 ・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり	a:健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また、住まいの清掃やメンテナンスについても理解し、快適な生活につなげることができる。 b:住まいの管理方法について、適切な判断をすることができる。快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 c:住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうしている。	定期考査 作品提出	定期考査 作品提出	ワークシート 授業観察
	食生活をつくる	・調理実習	a:調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。 b:調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組むことができる。 c:調理実習に積極的に参加し、取り組もうとしている。	実習	実習 ワークシート	実習 ワークシート 授業観察
	衣生活をつくる・子どもとかかわる	・サッカーボール (フェルトで作成、手縫い)	a:子どものためのおもちゃづくりを通して、基礎的な手縫いの技術を身につけている。 b:配色、完成した作品への刺繍などで自分らしさを表現することができる。 c:意欲的に取り組み、作業を振り返り、考えをまとめることができる。	作品提出	ワークシート 作品提出	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	食生活をつくる	・食事の計画と調理 ・食品の選び方と安全・これからの食生活を考える ・食生活の変遷 ・料理様式と調理 ・マナー ・調理実習	a:食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解し調理実習で実践できる。 b:食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりに向けての判断ができる。 c:食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとしている。	実習 定期考査	実習 ワークシート 定期考査	実習 ワークシート 授業観察
	子どもとかかわる	○子どもの生活 ・折り紙 ・絵本作り	a:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。また、子どもの衣食住にかかわる物づくりを通して、基礎的な技術を身につけている。 b:デザインや色の配色、完成した作品への刺繍などで自分らしさを表現することができる。 c:絵本づくりを通して、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持とうとしている。また意欲的に取り組むことができる。	作品提出	ワークシート 作品提出	ワークシート 授業観察
3学期	衣生活をつくる	○私たちがつなぐ衣生活の文化 ・伝統工芸(刺し子、組みひも)	a:日本の伝統工芸には，どのようなものがあるかを理解できる。 b:デザインや色の組み合わせなどを通して、自分らしさを表現することができる。 c:日本の伝統文化に関心を持ち、伝統工芸の製作に意欲的に取り組んでいる。	作品提出	ワークシート 作品提出	ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度